

写真を通して社会とつながる

オープンスペース きやつち

カメラ越しに見える世界が
思いがけない出会いをくれる



「オープンスペースきやつち」は、障がいのある子を育てる親の集まり「吉田町手をつなぐ育成会」が母体となり、障がい者と家族が安心して暮らせる地域づくりを目指して2004年から活動しています。

2011年からは、障がい者と市民が一緒に楽しめる活動がしたいとの思いから、写真を通して社会とつながる「フォトプロジェクト」を始めました。毎年新しいテーマで写真を募集してコンテストを行い、応募作品を展示する写真展を開催しています。今年も9月28日(土)～10月11日(金)に吉田公民館で開催します。

写真は、障がいの有無にかかわらず、それぞれの視点で見た世界を表現することができます。また写真展を開催することで、今まで関わることのなかった人同士の交流が生まれます。代表の山本和美さんは「写真を通して新たな出会いがあり、さまざまな活動を知るきっかけになったり、助け合いにつながっている」と話します。今後も継続して実施していきたいそうで、新メンバーも募集中です。写真や新たな世界に興味がある人は、まずは写真展を訪れてみてはいかがでしょうか。